

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 (千円)	R4決算額 (千円)	R5予定 (拡大・縮小・継続・その他)	R5予算	R5実施内容（予定）	今後の課題
1-(1) 人材の育成	①文化芸術活動 を行う者の育成	・瓦町アートステーション自主事業 【1-(1)-③、1-(2)-③に再掲】 アートディレクター事業の趣旨を継承し、創造的人材の育成とネットワーク化に取り組む。瓦町アートステーションを拠点にワークショップの開発・ファシリテーターの育成等、創出型の事業を展開する。	文化芸術振興課	新規追加	798	798	継続	798	高松市瓦町アートステーションを拠点とし、アートを軸とした創造的ワークショップを開発・実践することで、人材の育成とネットワークづくりを目指す。また、子ども向けの舞台制作ワークショップ及び外部講師による情報交換会も行う。	ワークショップ事業は1回当たりの参加者数を多くできないため、にぎわい創出とは異なる視点で成果を検証していく必要がある。
		・文化芸術ホール自主事業（演劇ワークショップ） 市内の中・高校生を中心とした演劇ワークショップの開催、四国学院大学が取り組んでいる演劇教育、演劇どっこい、コミュニケーション教育の活用に取り組む。	文化芸術振興課	継続	-	-	-	-	施設の改修工事に伴う休館の機会に、事業の必要性を含めて検討する。	本事業の趣旨を継承する取組を検討する必要がある。
	②文化芸術を学ぶ 機会の拡充	・香南歴史民俗郷土館事業（拓本と表装を楽しむ） 拓本と表装を楽しむ＝文学碑などを拓本にとり、軸装・額装して、拓本展に向けた作品作りを行う講座を実施する。	文化財課	継続	47	46	継続	47	文学碑などを拓本にとり、軸装・額装にして作品を制作する。（計7回開催予定）	講座内容の充実を図る上で、作業スペースの確保を検討する。
		・香南歴史民俗郷土館事業（古文書を読む） 古文書「由佐家文書」を題材に取り上げ、参加者と一緒に解説する等して古文書に親しむ講座を実施する。	文化財課	継続	45	45	継続	45	郷土館資料（由佐家文書・丸岡家文書等）を題材に取り上げ、古文書を読み解く。（計7回開催予定）	講座は受講者のレベルに差があるため、原則、初心者向けの講座として広く古文書を学べる講座にする。
		・香南歴史民俗郷土館事業（篆刻教室） 印材に文字や絵柄を刻んだ篆刻作品を制作する。	文化財課	継続	45	45	継続	45	石に絵や文字を彫って、篆刻作品を制作する。（計7回開催予定）	篆刻展を成果発表の場としているが、時間不足が危惧される。
		・香南歴史民俗郷土館事業（歴史講座、一般向け講座） 各種の郷土館講座、企画展に関連した講座等を実施する。	文化財課	継続	108	54	継続	108	歴史講座、子ども講座（甲冑等の制作、書道教室）を開催する。	郷土の歴史や文化財に関する展示に合わせた講演会やイベントを開催する。子ども向けの郷土館講座も積極的に検討する。
		・香南歴史民俗郷土館事業（由佐城月釜茶会、古本まつり） 茶会では1月を除く毎月、月替わりの席主によるお茶席を開いている。 古本まつりでは、秋の読書週間にあわせて、市民の方から古本を集め、提供する場として毎年人気を博している。	文化財課	継続	0	0	継続	0	月代わりの席主によるお茶席を行う。 市民の方から寄せられた古本を無料提供する。	古本まつり後の残本処理及び事業継続について検討する必要がある。
		・香南歴史民俗郷土館事業（常設展、企画展、共催展） 常設展では、香南町の歴史を古代から現代まで各資料等を展示し紹介している。企画展では、歴史展、郷土館講座の作品展、考古学速報展や季節にあわせた展示等を行っている。	文化財課	継続	475	516	継続	475	常設展のほか、企画展「わが家のお宝展」等の企画展・共催展を開催する。（計11展開催予定）	常設展示にある資料（航空写真等）の情報が古くなっているため、更新の必要がある。
		・讃岐国分寺跡資料館事業（常設展、企画展） 常設展では、発掘調査で出土した古代の瓦・土器類を展示、それに合わせて写真パネルやレプリカを使って解説を行うほか、アニメーションを取り入れた讃岐国分寺跡の歴史ビデオを放映するとともに、企画展は、古代讃岐国分寺との関連性のあるテーマで開催している。	文化財課	継続	255	169	継続	203	常設展のほか、開館30年記念企画展「讃岐国分寺跡資料館のあゆみ」等の企画展を開催する。（計3回開催予定）	企画展終了後、観覧スペースが閑散になるのを防ぐために、国分尼寺を詳しく説明する資料を作成展示し、次の企画展までの充実を図ることとする。
		・讃岐国分寺跡資料館事業（歴史講座） 歴史に関連する資料館講座等を実施し、教育普及活動の充実を図っている。	文化財課	継続	55	35	継続	55	古代史を中心とした講座を開催する。（計5回開催予定）	これまで県内在住の講師中心だったこともあり、依頼先が厳しくなった。 今後は、依頼先を県外まで広げ、スタッフの充実を図っていきたい。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 （千円）	R4決算額 （千円）	R5予定 （拡大・縮小・継続・その他）	R5予算	R5実施内容（予定）	今後の課題
1-(1) 人材の育成	②文化芸術を学ぶ機会の拡充	・石の民俗資料館事業（古文書講座） 実際の古文書を題材に取り上げ、講師を招いて古文書に親しんでもらう。	文化財課	継続	84	84	継続	84	石に関する古文書（江戸時代）を読み解く。（計11回開催予定）募集人員を20名から30名に増やした。	古文書講座は毎年開催しているが、新たな受講者が増加するようなカリキュラムを取り入れる等、講座内容の見直しを検討する必要がある。
		・石の民俗資料館事業（常設展、企画展、ホール・共催展） 常設展では、石工達が醸成してきた知恵と技術を後世に継承することをメインテーマに、石の文化と歴史を映像とジオラマを使いわかりやすく紹介し、企画展は、地元作家や石彫作品などを中心に開催している。また、エントラスホールを利用したホール展や地域団体とともに共催展を開催している。	文化財課	継続	1,422	1,320	継続	1,642	常設展のほか、企画展「宮脇慎太郎写真展「Photo×Book」」等の企画展・共催展等を開催する。（計13展開催予定）	来館者の増加に向け、企画展については、石彫作品はもとより、市民の関心がある美術・工芸を含め、様々なジャンルの展示を行うなど、工夫を凝らす必要がある。
		・歴史資料館事業（常設展、企画展・収蔵品展、ロビー展） 常設展では、高松の原始から現代にいたるまでの歴史と文化の変遷を通観できるようにしている。企画展は、讃岐にゆかりが深い人物や出来事をテーマとした内容で開催している。また、エントラスホールを利用したロビー展を随時開催し、資料の展示・公開を行っている。	文化財課	継続	4,204	4,244	継続	2,541	常設展のほか、企画展「近世高松の24時間－200年前の暮らしを体感せよ－」等の企画展・収蔵品展を開催する。（計4展開催予定）	来館者数増加に向けたさらなる広報活動、情報発信を検討する必要がある。
		・歴史資料館事業（古文書講座） 実際の古文書を題材に取り上げ、講師を招いて古文書に親しんでもらう講座を実施する。	文化財課	継続	59	59	継続	59	地元の生活に密着したものを題材に取り上げ、古文書を読み解く。（計7回開催予定）	講師の高齢化に伴い、新たに講師を選定する必要があり、それに伴い、現行の古文書の題材も変更する可能性がある。
		・菊池寛記念館事業（文芸講座（一般対象教育普及事業）） 菊池寛を顕彰するとともに、地域文芸の振興を図るため、郷土において活躍している方々等による文芸講座を開催する。	文化財課	継続	104	73	継続	104	郷土を中心に活躍の研究者を講師に招き講座を開催。6月開講、毎月1回、年10回開催予定。	参加者のニーズに合った講師の選定に取り組む必要がある。
		・菊池寛記念館事業（常設展・文学展（展覧会事業）） 市民の教養と市民文化の発展に寄与するため設置された菊池寛記念館の目的を達成するため、菊池寛に関する常設展や文学展を開催する。	文化財課	継続	3,456	3,456	継続	3,284	菊池寛に関する常設展の他、菊池寛と関わりのあった作家等のコレクション展を開催。また、菊池寛記念館第32回文学展を開催する。	常設展及び文学展等開催の広報活動を充実し、観覧者数の増加に取り組む必要がある。また、常設展示内容についてリニューアルを検討する必要がある。
		・生涯学習カレッジ 少子高齢化、情報化など現代的課題を取り上げる講座や大学等と連携した専門的な講座等を開催している。	生涯学習センター	継続	808	662	継続	808	引き続き、現代的課題を取り上げる講座をはじめ、香川大学等と連携した専門的な講座を実施する予定である。	講座内容について、大学などと連携し、現代的課題を把握するなど、固定化しないように、適宜、講座内容の見直しに取り組む必要がある。
		・コミュニティセンター講座等 地域の特色ある学習活動を推進し、地域住民の多様化した学習要求に応えるため、各コミュニティセンターにおいて、コミュニティセンター講座等を開催している。これまでの取組に加え、地域での生涯学習の指導者（リーダー）を養成する講座を開催するなど、新たな参加者層をターゲットにした企画や催しなどを開催する際に有益な研修を実施予定。また、子ども向けの講座「まなびの場づくり」事業も実施している。	生涯学習センター	継続	17,677	16,455	継続	17,677	引き続き、各コミュニティセンターにおいて、コミュニティセンター講座等を開催するとともに、「まなびの場づくり」事業を実施する。	多くのコミュニティセンターにおいて受講者の固定化や高齢化が進んでいるため、若年層が積極的に受講できる講座内容の見直しに取り組む必要がある。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 （千円）	R4決算額 （千円）	R5予定 （拡大・縮小・継続・その他）	R5予算	R5実施内容（予定）	今後の課題
1-(1) 人材の育成	②文化芸術を学ぶ機会の拡充	・商店街との連携事業 生涯学習の分野における商店街の持つノウハウを学習する講座を開催している。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、商店街のノウハウを学習する講座を実施する予定である。	講座内容について、商店街との連携を図りながら、新たな分野を開発するなど、受講者の増加に向けて取り組む必要がある。
		・他団体との共催事業 関係機関等の活動の活性化を図るとともに、生涯学習の総合的目効果的な推進に努めるため、関係機関等と連携した講座を開催する。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、関係機関等と連携した講座を開催する予定である。	講座内容について、固定化しないよう、適宜、講座内容の見直しに取り組む必要がある。
		・企業等との連携事業：CSR教室 地元企業や個人事業者が社会的責任（CSR）の観点から生涯学習に関する講座を開催する。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、地元企業等が生涯学習の観点から社会的貢献を図る講座を開催する予定である。	講座内容が固定化しているため、新分野の拡充を検討する必要がある。
	③文化芸術活動を支援する者の育成	・瓦町アートステーション自主事業 【1-(1)-①、1-(2)-③に再掲】 アートディレクター事業の趣旨を継承し、創造的人材の育成とネットワーク化に取り組む。瓦町アートステーションを拠点にワークショップの開発・ファシリテーターの育成等、創出型の事業を展開する。	文化芸術振興課	新規追加	798	798	継続	798	高松市瓦町アートステーションを拠点とし、アートを軸とした創造的ワークショップを開発・実践することで、人材の育成とネットワークづくりを目指す。また、子ども向けの舞台制作ワークショップ及び外部講師による情報交換会も行う。	ワークショップ事業は1回当たりの参加者数を多くできないため、にぎわい創出とは異なる視点で成果を検証していく必要がある。
		・文化芸術ホール自主事業（ホールボランティア募集） 文化芸術ホール（サンポートホール高松）の主催公演において、文化芸術に興味がある市民を対象に、来場者対応等のサポートをお願いしている。	文化芸術振興課	継続	125 ※高松市補助金 交付額	6 ※高松市補助金交 付額	継続	0	施設が改修工事に伴い休館となることから、新規募集を見合わせるとともに、アウトリーチ事業の機会を活用し、継続ボランティアとのコミュニケーション維持に努める。	ボランティアの確保・育成と並行して、文化芸術に対する市民の理解と認識を深めるための各事業を継続していく必要がある。
		・讃岐国分寺跡資料館友の会事業 講演会、現地研修、友の会コンサート、ウォーキング、体験講座、史跡まつり関連事業等を実施している。平成30年度初めに「史跡讃岐国分寺跡史跡ガイドブック」を発行している。	文化財課	継続	5	2	継続	5	講演会、現地研修、体験講座、史跡まつり関連事業等を実施する。	活動内容が年々広がっているので、実施事業の精査及び事業内容の整理を図る必要がある。
		・石の民俗資料館友の会事業 現地研修、資料館コンサート、工作教室、ストーンハンティングを実施している。	文化財課	継続	3	0	継続	3	現地研修、工作教室、ストーンハンティング等を実施する。工作教室等制限していた人数を増やした。	原則として、毎月開催している工作教室の内容については、今後も創意工夫に努める必要がある。
		・歴史資料館事業（サポーター活動、古文書ボランティア活動） サポーター活動事業として、資料整理、ミュージアムトーク等を実施するほか、古文書ボランティア活動事業を実施している。	文化財課	継続	0	0	継続	0	資料館サポーターによる資料整理、ミュージアムトーク等を実施する。 古文書ボランティアによる収蔵資料解読を実施する。	サポーター及びボランティアの人数や活動内容を再検討する必要がある。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 （千円）	R4決算額 （千円）	R5予定 （拡大・縮小・継続・その他）	R5予算	R5実施内容（予定）	今後の課題
1-(1) 人材の育成	③文化芸術活動を支援する者の育成	・人材育成関連事業 博物館学芸員実習生、大学生インターシップ、中学生職場体験、大学生ボランティアを受け入れるほか、美術館ボランティアciviの例会等は定期的に行い、人材育成を図っている。	美術館美術課	継続	13	7	継続	13	博物館学芸員実習生、大学生インターシップ、中学生職場体験、大学生ボランティアを受け入れるほか、美術館ボランティアciviの例会等は定期的に行い、人材育成を図る。	なし
		・市民促進事業（生涯学習コーディネーター養成講座等） 生涯学習関連施設において生涯学習を推進・援助するスタッフ（人材）を養成する講座を毎月開催。地域での生涯学習や講座の開催等に関する資質・能力の養成を図る。	生涯学習センター	継続	139	105	継続	139	引き続き、生涯学習関連施設において、生涯学習を推進・援助するスタッフを養成する講座を開催する。	地域の生涯学習を推進するためには、幅広い分野について資質・能力を向上させる必要がある。取り分けSNSの活用のスキルについて養成する必要がある。
		・まなびCAN・子ども教室 小・中学生を対象とした講座をボランティアで開催する講師を公募し、生涯学習センターの施設を有効に活用して講座を開催する。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、ボランティアの講師による小・中学生を対象とした講座を開催する予定である。	講座内容が固定化してきていることから、新たなボランティア講師を発掘し、新たな講座の開催につなげる必要がある。
1-(2) 次代を担う子どもの育成	①子ども未来館の活用	・子ども未来館学習の実施 子ども未来館の施設を活用した体験的な学習活動を通して、子供たちの創造力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施する。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内を含め、50校程度が参加している。また、子ども未来館学習用バス等の借上を行っている。	子ども未来館	継続	4,327	3,260	継続	4,641	高松市内の小学校4年生及び希望する中学校(受け入れ可能範囲において、連携中枢都市圏内の小・中学校)を対象に、子ども未来館学習を実施する。	子ども未来館学習を予定どおり実施できるかは、今後の状況と学校側の判断によるが、感染症対策を行い実施中である。 大規模校のバスは配車に本市所有のマイクロバスを活用しても、年度当初では準備できないことがあるため、調達方法を検討する必要がある。
		・子ども未来館公募等プログラム ・子ども未来館まつり ・子ども未来館遊び体験プログラム 子ども未来館での様々な体験を通して、子供たちの夢を広げることが目的として、市民活動団体や大学等との連携を図るとともに、ノウハウを有する民間の運営への参画を促し、魅力ある事業を継続的に提供していけるよう取り組んでいる。	子ども未来館	継続	2,025	1,869	継続	2,025	遊び、体験等をコンセプトに、子ども・子育てに関する幅広いジャンルのプログラムを教育機関・市民活動団体等の協力を得ながら実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響で、今後の状況に応じて、実施の可否等を検討することになるが、概ね実施予定である。 来館者数増加に向けたさらなる広報活動、情報発信を検討する必要がある。
		・子ども未来館体験教室等の開催 子どもの探究心を高める科学やアート体験プログラムを実施し、科学技術に対する興味や夢、想像力を育てている。	子ども未来館	継続	2,580	2,075	継続	2,580	子どもの探究心を高める科学やアート体験プログラムを定期的に実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響で、今後の状況に応じて、実施の可否等を検討することになるが、概ね実施予定である。 参加希望者が多いイベントに対して受け入れできないケースがあるため受け入れ人数を増やす工夫が必要。
	②高松市美術館の活用	・子どもアートスペースの活用 平成27年のリニューアルオープンにより新設された子どもアートスペースでは、誰でも気軽に参加できるプログラム「ふらっとアート」を用意し、未就学児にも楽しんでもらうと同時に、外部講師による就学前児童対象のワークショップ等を開催している。	美術館美術課	継続	196	196	継続	196	平成27年のリニューアルオープンにより新設された子どもアートスペースでは、誰でも気軽に参加できるプログラム「ふらっとアート」を用意し、未就学児にも楽しんでもらうと同時に、外部講師による就学前児童対象のワークショップ等を開催する。	なし

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 (千円)	R4決算額 (千円)	R5予定 (拡大・縮小・継続・その他)	R5予算	R5実施内容（予定）	今後の課題
1-(2) 次代を担う子どもの育成	②高松市美術館の活用	・美術館学習の受入 ・アートで遊ぼう！（鑑賞プログラム）の充実 ・美術館ワークショップ ・美術館出前講座 小学生を対象とした美術館での鑑賞・施設学習の実施や、鑑賞教育の充実を図るため、作品をじっくり見るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう！」、その他ワークショップや出前講座に取り組んでいる。	美術館美術課	継続	763	727	継続	763	小学生を対象とした美術館での鑑賞・施設学習の実施や、鑑賞教育の充実を図るため、ワークショップや出前講座に取り組む。	なし
		・学校との連携プログラム事業 特別展関連イベントの際に学校との連携を進め、美術教諭はじめ生徒たちとも積極的に連携の輪を広げる。教育現場の立場からの批評・指導により子どもたちにより充実した「美術体験」となるようなプログラム作りを目指している。今後も、研修会の参加や学校との連携ワーキンググループ会を予定している。	美術館美術課	継続	0	0	継続	0	特別展関連イベントの際に学校との連携を進め、美術教諭はじめ生徒たちとも積極的に連携の輪を広げる。教育現場の立場からの批評・指導により子どもたちにより充実した「美術体験」となるようなプログラム作りを目指している。今後も、研修会の参加や学校との連携ワーキンググループ会を予定している。	なし
	③子どもの発達段階に応じた文化芸術との触れ合いの機会の創出	・芸術士派遣事業 市内の保育所・こども園・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で子どもたちと絵画や造形などの様々な表現活動を実施する。	こども保育教育課	継続	34,877	34,877	継続	34,877	市内の保育所・こども園・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で子どもたちと絵画や造形などの様々な表現活動を実施する。	事業実施施設、児童、保護者等からの満足度は高いものの、この事業の効果を数値化することが困難である。
		・瓦町アートステーション自主事業 【1-(1)-①、1-(1)-③に再掲】 アートディレクター事業の趣旨を継承し、創造的人材の育成とネットワーク化に取り組む。瓦町アートステーションを拠点にワークショップの開発・ファシリテーターの育成等、創出型の事業を展開する。	文化芸術振興課	新規追加	798	798	継続	798	高松市瓦町アートステーションを拠点とし、アートを軸とした創造的ワークショップを開発・実践することで、人材の育成とネットワークづくりを目指す。また、子ども向けの舞台制作ワークショップ及び外部講師による情報交換会も行う。	ワークショップ事業は1回当たりの参加者数を多くできないため、にぎわい創出とは異なる視点で成果を検証していく必要がある。
		・0才からのコンサート 瀬戸フィルハーモニー交響楽団へ事業委託を行い、乳幼児と（子育て中の）保護者が一緒に楽しめるクラシック・コンサート（妊婦を含む）を市内にて4公演実施。	文化芸術振興課	継続	1,000	1,000	継続	1,000	引き続き実施し、親子で一緒に楽しめるクラシック・コンサートの鑑賞の機会を提供し、乳幼児をもつ保護者や乳幼児に音楽に触れる機会を提供する。	今後の開催に当たっては、市民の利便性等も踏まえ、市内全域から様々な会場を検討する。
		・菊池寛記念館（朗読劇「菊池寛劇場」、読書感想文講座） 児童・生徒を対象とした菊池寛の作品等を朗読劇や語りで公演を行う。また、読書感想文講座を開催し、市内小学生を対象に読書感想文の書き方を指導する。	文化財課	継続	52	52	継続	52	朗読劇「菊池寛劇場」では、主に菊池寛の作品を、朗読等で紹介する公演を行う。また、市内小学生を対象に菊池寛の作品を読みもらい、その作品の読書感想文の書き方を指導する読書感想文講座を夏休み期間中2回開催する。	朗読劇等の広報活動を充実し、観覧者数増加に取り組む必要がある。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 （千円）	R4決算額 （千円）	R5予定 （拡大・縮小・継続・その他）	R5予算	R5実施内容（予定）	今後の課題
1-(2) 次代を担う子どもの育成	③子どもの発達段階に応じた文化芸術との触れ合いの機会の創出	・ブックスタート事業 中央図書館が保健センターと連携し、4か月児相談を利用して、絵本の読み聞かせの効用について説明し、絵本を贈呈するほか、ブックスタートのフォローとして、乳幼児向けのブックリストの配付や、読み聞かせを行うなど、子育て支援と子どもの読書活動を推進する。	中央図書館	継続	1,920	1,920	継続	1,920	図書館が健康づくり推進課と連携し、4か月児相談を利用して、絵本の読み聞かせの効用について説明し、絵本を贈呈するほか、ブックスタートのフォローとして、乳幼児向けのブックリストの配付や読み聞かせを行う。	現状、絵本パックの贈呈は行っているものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、対面での対応になる読み聞かせ等は中断している。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行するなど状況が変化していることから、今後の状況の変化に合わせ、健康づくり推進課と協議し読み聞かせ等の再開を検討する。
		・子ども読書まつり事業 子どもに読書への動機づけを図るとともに、保護者の読書活動への認識を高めるため、読書週間にあわせて、多彩な児童行事や講演会などを行い、子ども読書活動を推進している。	中央図書館	継続	247	263	継続	150	読書週間にあわせて「子ども読書まつり」を開催し、多彩な児童行事や講演会などを行う。	令和4年度においては、「サンクリスタル高松開館30周年記念事業」として集客力のある多くのイベント等を準備した「子ども読書まつり」を開催した結果、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下にもかかわらず、例年以上の参加者数となった。今後は参加者数を維持するために、より魅力あるイベント等を準備する必要がある。
		・読書活動等推進事業 ボランティアによる「おはなし会」や、「よみかかせたい」rによる子どもおはなし会」など各種児童向け行事や、各種講座を開催している。	中央図書館	継続	387	318	継続	372	ボランティアによる「おはなし会」や、「よみかかせたい」rによる子どもおはなし会」など各種児童向け行事や各種講座を開催する。	ボランティアの人数・質の充実を図るほか、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行などの状況の変化に合わせて感染予防の対策を見直した上で、イベントや講座の開催を実施する必要がある。
	④学び舎に文化芸術を	・伝統的ものづくり夏休み親子体験教室 親子で夏休みの宿題を完成できるよう伝統的ものづくりのワークショップを開催する。6コース親子15組×2回（午前午後）実施予定。	産業振興課	継続	84	84	継続	84	引き続き事業を継続する。	講座によって応募人数に差があり、アンケート結果も参考にしながら、体験内容を検討する必要がある。
		・伝統的ものづくり学校巡回教室 漆器、庵治石、盆栽等の職人を小中学校へ派遣し、職人の話を聞いたり、作業の様子や作品を実際に見たり、体験してもらう。	産業振興課	継続	0	0	その他	775	予算見直しのため、令和4年度は実施しなかったが、令和5年度は、令和3年度と同内容での実施を予定している。	限られた予算の中で、より多くの児童生徒に参加してもらえないようにする必要がある。
		・学校巡回芸術教室事業 毎年度、多彩なジャンルの文化芸術団体・アーティストが市内の希望校を訪問し、児童生徒が生徒の優良芸術を鑑賞・体験する機会を提供する。	文化芸術振興課	継続	4,200	4,146	継続	4,200	引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	各小中学校の希望が招聘アーティストやオーケストラ等の一部ジャンルに偏る傾向があるため、各校の意向調査を踏まえたメニューを提案するとともに、実施希望調査時に先生方の興味をひくような資料作成やPR方法の工夫を行う必要がある。
・学校巡回音楽教室事業 小中学校の児童生徒を対象に、生の古典芸能鑑賞機会を提供する。		文化芸術振興課	継続	1,677	1,694	継続	1,677	引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	学校巡回芸術教室の雅楽と合わせて、日本の伝統文化に触れる機会を創出しているが、各小中学校の希望が能楽、狂言に偏る傾向がある。実施希望調査時に先生方の興味をひくような資料作成やPR方法の工夫を行う必要がある。	
	・ものづくりふれあい教室事業 小中学校の児童生徒を対象に、手づくりでものづくりにチャレンジしながら、もの大切さを体験し、文化の創造に関心を深める機会を提供する。	文化芸術振興課	継続	480	480	継続	480	教室のコースの回数などを見直し、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	メニュー内容の充実や実施数を確保するための人材を確保し、洋裁コースと和裁コースの希望に偏りが出ないような工夫を検討することが必要である。	

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 （千円）	R4決算額 （千円）	R5予定 （拡大・縮小・継続・その他）	R5予算	R5実施内容（予定）	今後の課題
1-(2) 次代を担う子どもの育成	④学び舎に文化芸術を	・讃岐国分寺跡資料館事業（伝統文化子ども箏教室） 教育普及活動として、伝統文化子ども箏教室を開催している。	文化財課	継続	181	181	継続	181	邦楽（箏）をとおして、日本の伝統文化を学ぶ。（計20回開催予定） 史跡まつり等で実践発表を行う。	例年、受講者の申込みが遅いことから、これまでの広報活動に加え、新たな周知方法を検討する必要がある。
		・サンクリスタル学習 市内の小中学生（高学年）を対象に歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館の3館による体験学習を実施している。	文化財課	継続	3,908	2,393	継続	3,705	市内の小中学生（高学年）を対象にサンクリスタル高松の体験学習を実施する。	午後からの学習内容について、再検討する必要がある。
		・イサム・ノグチ庭園美術館の利用料負担 小・中学校の文化芸術に関する教育活動の一環として、イサム・ノグチ庭園美術館の利用促進を図るため、児童生徒を引率する教員の利用料を負担している。	学校教育課	継続	-	-	-	-	-	-
		・図書館を使った調べる学習コンクール事業 ・読書感想画事業 コンクールについては、図書館資料をはじめ様々な情報を活用した調べる学習を通じて、児童自らが考え、判断し、表現する力を育む。 読書画については、読書によって得た感動を絵画表現することを通して、幼児・児童の読解力、表現力を養うとともに、読書活動の推進を図る。	中央図書館	継続	89	58	継続	101	夏休み明けに、児童等から図書館を使った調べる学習コンクール、読書感想画の作品募集を行い、優秀作品を表彰するとともに、「子ども読書まつり」で全作品を展示する。	学業・クラブ活動等に忙しいこともあり、中学生の応募数が少ないことから、更なる周知を検討する。
1-(3) 顕彰及び奨励	①文化活動の顕彰・奨励	・専門講座 大学等と連携して情報化や社会経済の進展に伴う新しい知識の習得を図るほか、より高度な学習機会を提供するため講座を開催している。今後も引き続き、大学・高校・専門機関等との連携を深め、より充実した講座の提供に努める。	生涯学習センター	継続	808	662	継続	808	引き続き、大学等と連携して情報化や社会経済の進展に伴う新しい知識の習得を図るほか、より高度な学習機会を提供するための講座を開催する予定である。	大学等との連携をより深め、さらに充実した講座の開催を検討する。
		・高松市文化奨励賞 本市における文化の振興に貢献し、将来において、さらにその活躍が期待される者を奨励することにより、本市の文化芸術の振興を図る。新人部門と顕彰部門の2部門で表彰を行っている。	文化芸術振興課	継続	587	555	継続	585	引き続き、顕彰部門と新人部門において表彰を行う。	賞の趣旨に合う水準の人材が推薦されるよう、また、両部門の推薦が活発になるよう、周知先・周知方法を検討する。
		・文化奨励賞受賞者記念披露事業 【2-(1)-①、3-(1)-①に再掲】 高松市文化奨励賞受賞者に発表の機会を提供し、その活動を応援するとともに、市民に対して文化芸術に触れる機会を提供する。概ね3年毎に実施予定。	文化芸術振興課	新規追加	44	0	継続	44	新人部門の受賞者に高松市瓦町アートステーション等での成果発表の機会を提供する。受賞者のニーズを把握しながら、実施の時期や在り方を検討する。	受賞者のニーズに適した場の提供及び顕彰部門受賞者や過去受賞者への発表機会の提供について、今後検討していく必要がある。
		・香川菊池寛賞 郷土が生んだ文壇の大御所「菊池寛」を顕彰する事業として、また、郷土文化・文学の向上を図るため、文芸作品を募集し、優秀な作品に香川菊池寛賞を贈呈する作品募集選奨事業。小説、随筆、戯曲（脚本）を対象とし、香川菊池寛賞1篇と奨励賞1篇が選ばれ、「文藝もず」に掲載している。	文化財課	継続	817	817	継続	817	菊池寛顕彰事業実行委員会との共催事業として、小説、随筆、戯曲（脚本）を対象とした文芸作品を募集し、香川菊池寛賞1篇と奨励賞1篇を選定し、賞を贈呈する。また、受賞作品は「文藝もず」に掲載する。	広報活動を充実し、応募作品増に取り組む必要がある。
	②子どもを対象としたコンクール等の支援	・子どものための演劇教室 高松市芸術文化市民協議会が実施する「子どものための演劇教室」に対して、補助金を交付。	文化芸術振興課	継続	271	271	継続	258	補助金額の見直しを行いつつ、引き続き補助を行う。	本補助事業が単に実施するだけで終わらず、広がり・繋がりを生むものとなる必要がある。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 （千円）	R4決算額 （千円）	R5予定 （拡大・縮小・継続・その他）	R5予算	R5実施内容（予定）	今後の課題
1-(3) 顕彰及び奨励	②子どもを対象としたコンクール等の支援	・文化芸術ホール自主事業（香川ジュニア音楽コンクール・グランプリ大会共催） 幼児から高校生までを対象に、ピアノ・声楽・器楽などの音楽コンクール金賞受賞者によるグランプリ大会を香川音楽連盟との共催で開催する。	文化芸術振興課	継続	0	0	その他（休止）	0	ホールが大規模改修工事に伴う休館となることから、ホールの共催事業としては実施しない。	令和6年度のリニューアルオープン後に再開予定としている。
		・中山城山顕彰事業（城山顕彰会） 香南町の郷土の儒学者を顕彰する城山まつりの開催や香南小学校・中学校の児童・生徒に中山城山関連の作品（書画）の募集を行っている。	文化財課	継続	115	115	継続	115	郷土の儒学者「中山城山」を顕彰する共催展「城山まつり」の開催、各種行事を実施する。	郷土の偉人として「中山城山」の学習は郷土館事業の中でも重要であり、継続していく必要がある。
		・菊池寛ジュニア賞 菊池寛を顕彰する事業として、市内小中学校の児童生徒を対象に文芸の向上を図る目的で創設された作品募集選奨事業。小中学校各部において、最優秀賞、優秀賞、寛学賞、優良賞を贈呈している。	文化財課	継続	277	277	継続	277	菊池寛顕彰会との共催事業として、市内小中学校の児童生徒を対象に文学作品を募集・選奨し、小中学校各部において、最優秀賞、優秀賞、寛学賞、優良賞を贈呈する。	応募者数を増やすなど事業継続につながる取組が必要である。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針2 であう・ひろがる）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 （千円）	R4決算額 （千円）	R5予定 （拡大・縮小・継続・その他）	R5予算額	R5実施内容（予定）	今後の課題
2-(1) 環境の整備	①活動の場、機会の拡充	・文化奨励賞受賞者記念披露事業【再掲】 高松市文化奨励賞受賞者に発表の機会を提供し、その活動を応援するとともに、市民に対して文化芸術に触れる機会を提供する。概ね3年毎に実施予定。	文化芸術振興課	新規追加	44	0	継続	44	新人部門の受賞者に高松市瓦町アートステーション等での成果発表の機会を提供する。受賞者のニーズを把握しながら、実施の時期や在り方を検討する。	受賞者のニーズに適した場の提供及び顕彰部門受賞者や過去受賞者への発表機会の提供について、今後検討していく必要がある。
		・生涯学習センター利用促進事業 生涯学習センターに親しんでもらうため、市民の参加しやすい講座や集客を意識したイベント等を開催している。講座参加者に対するアンケートや担当者の意見を基に、講座内容の検証を行い、市民ニーズを的確に把握した上で、新しい講座の企画や広報媒体の工夫を継続して実施していく。	生涯学習センター	継続	309	282	継続	441	引き続き、生涯学習センターの集客につながる、市民にとって参加しやすく、受講者のニーズに合ったイベント等を開催する予定である。	講座内容について、固定化しないように、アンケートなどによりニーズを把握し、適宜、講座の見直しを図る必要がある。
		・学習成果発表の場事業 市民の知識や技術の成果を生涯学習の分野で役立てるため、講座等の実施案を募集し、決定したものを生涯学習センターで開催する。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、市民の知識や技術の成果を生涯学習の分野で役立てるため、講座等の実施案を募集し、決定したものを生涯学習センターで開催する予定である。	より多くの方に応募いただけるような周知方法について、検討する必要がある。
		・展示事業 市民から公募した作品等を公開展示するほか、コミュニティセンターでの各種講座・同好会活動における学習の成果（作品）の発表の場を提供する。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、市民から応募した作品等を公開展示する場を提供する予定である。	毎年、展示に係る講座や作品の依頼先が固定化されているため、新規の依頼者を開拓する必要がある。
	②美術館におけるコレクション及び企画展等の充実	・美術館におけるコレクション及び企画展等の充実 美術品の取得方針に基づき、計画的・系統的に美術品収集を図り、常設展示としてテーマを設けて紹介。また、特別展では、様々なジャンルの美術を楽しんでもらうよう現代美術家の個展やグループ展等を企画。	美術館美術課	継続	77,105	75,353	継続	64,667	美術品の取得方針に基づき、計画的・系統的に美術品収集を図り、常設展示としてテーマを設けて紹介。また、特別展では、様々なジャンルの美術を楽しんでもらうよう現代美術家の個展やグループ展等を企画。	なし
	③文化芸術を身近なものへ	・まちなかパフォーマンス事業 音楽やパフォーマンスなど文化芸術による交流を創出し、都市ブランドを高め、人々の交流、まちの活性化を図る。「ミュージックブルーフェス」、「フラストリート」、「街クラシックin高松」、「サンポートオータムジャム」、「たかまつ大道芸フェスタ」を実施。	文化芸術振興課	継続	10,000	10,000	継続	9,000	高松中央商店街やサンポート高松等の活性化を図るため、各イベントを実施する。	実行委員会の構成団体の各負担金と事業規模のバランスを考慮しつつ、協賛金収入の獲得を目指し、安定的な事業運営を図る。また、サンポートエリアでの新たな会場の確保を検討する必要がある。
・ホスピタルアートの展開 デリバリーアーツ事業の一環で、高松市立みんなの病院に音楽演奏を出前し、患者や家族が気軽に文化芸術に触れる機会を提供する。また、アートの力を活かした快適な療養環境づくりについて、他の公的病院の事例を研究し、有効な方策について検討する。		文化芸術振興課 みんなの病院事務局総務課	継続	— デリバリーアーツ事業として実施	— デリバリーアーツ事業として実施（新型コロナウイルス感染症のため公演中止）	継続	— デリバリーアーツ事業として実施	デリバリーアーツ事業による音楽演奏メニューのうち、1件をみんなの病院に出前する予定としている。	美術系のホスピタルアートについては、近隣の医療機関の事例等を踏まえ、導入の可能性を検討していく。	

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針2 であう・ひろがる）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 (千円)	R4決算額 (千円)	R5予定 (拡大・縮小・継続・その他)	R5予算額	R5実施内容（予定）	今後の課題
2-(1) 環境の整備	③文化芸術を身近なものへ	・高松市美術館サポートショップ事業 会期中の特別展のチケットの半券又は有効期間中の定期観覧券を参加店舗で提示すると割引などの特典を受けることができる。また、参加店舗に設置した割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度も実施。	美術館美術課	継続	78	50	継続	78	参加店舗に設置した割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引となる制度を実施。また、会期中の特別展のチケットの半券又は有効期間中の定期観覧券を参加店舗で提示すると割引などの特典を受けることができる。	なし
		・レンタサイクルのアート化 レンタサイクルの利用促進とイメージアップのため、26年度に公募によりレンタサイクルの新デザインを決定し、アート化に取り組んでいる。今後も引き続き、新デザインの塗装を順次行っていく予定。	交通政策課	継続	66,816	61,961	継続	63,902	新型コロナウイルス感染症による、観光客や人の行動変容の変化を踏まえた上で、全国展開しているシステムを効果的に活用し、新規利用者の獲得に努めるとともに、車両50台のデザイン化を実施し、レンタサイクルのイメージアップに取り組む。	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少している中、車両のデザイン化とともに、新たなシステムの導入の効果をいかし、利用者の増加を図る必要がある。
		・移動図書館車の巡回事業 図書館から遠隔地にあり、図書館を利用しにくい市民の方を対象に、移動図書館車3台により、市内と「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約」に基づき直島町のステーションを月1回巡回し、図書館サービスを提供する。	中央図書館	継続	201	198	継続	202	図書館から遠隔地にあり、図書館を利用しにくい市民の方を対象に、移動図書館車3台により、市内86カ所と「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約」に基づき直島町2カ所のステーションを月1回巡回し、図書館サービスを提供する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少している中、新たな巡回先の開拓やSNS等での巡回状況の周知などで、利用者の増加を図る必要がある。
	④市民文化の創造発信と多様な交流の拠点	・文化芸術ホール自主事業 文化芸術ホールが実施する自主事業を通じて、本市の文化芸術の振興・普及を図る。具体的には、市民が質の高い舞台芸術に触れる機会を幅広く提供するために実施する招へい公演等の主催事業、マスコミ・文化団体等との共催事業、友の会組織・ホールボランティア組織等の市民参加組織の運営事業、市民に対するホール事業の周知宣伝を図るための情報誌等の発行及びホームページ運用事業を実施していく。	文化芸術振興課	継続	10,000	10,000	継続	10,000	ホールが休館中であることから、令和4年度に引き続きアウトリーチを主体とした主催事業や、市民参加推進事業・広報事業を実施する。また、令和6年度のサンポートホール高松開館20周年記念事業の実施に向けて、準備を進める。	ホールの休館期間中においては、アウトリーチ主体等、新たな自主事業の形を継続する必要がある。
		・文化芸術振興事業【4-(1)-②に再掲】 高松市文化芸術財団に事業を委託し、市民文化祭の開催のほか、文化芸術の振興普及を図るアウトリーチ事業を実施する。（アーツフェスタたかまつ、学校巡回芸術教室、学校巡回音楽教室、デリバリーアーツ）	文化芸術振興課	継続	16,443	15,631	継続	16,783	文化芸術財団に4つの事業を委託し、幅広い層が文化芸術に触れる機会を創出する。 なお、アーツフェスタたかまつについては、ホールの休館に伴い、令和4年度に引き続き他の公共的施設等を会場として実施する。	ホールの休館期間中においては、引き続き、アーツフェスタたかまつ開催方法等について変更する必要がある。
		・高松国分寺ホール自主事業 本市西部地域の文化芸術の創造拠点である高松国分寺ホールの多様な自主事業を通じて、市民の創造的な文化芸術活動の推進と交流を図り、市民文化の発展の推進に努める。毎年、コンサート、文化講演会、アウトリーチ活動等、概ね10メニューで30～40事業程度を実施する。	文化芸術振興課	新規追加	1,900	1,900	継続	1,900	高松国分寺ホール開館10周年を記念する事業や各種事業を実施する。	将来的には、「音の祭り」事業との再編を検討する。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針2 であう・ひろがる）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 (千円)	R4決算額 (千円)	R5予定 (拡大・縮小・継続・その他)	R5予算額	R5実施内容（予定）	今後の課題
2-(1) 環境の整備	④市民文化の創造発信と多様な交流の拠点	・美術館の機能向上 平成27年のリニューアルオープンにより新設された「こどもアートスペース」「美術図書コーナー」「カフェ」「情報提供コーナー」の充実及び展示機能を付加された「講堂」での展覧会等により、美術館としての機能・利用率の向上を図っている。	美術館美術課	継続	396	395	継続	396	平成27年のリニューアルオープンにより新設された「こどもアートスペース」「美術図書コーナー」「カフェ」「情報提供コーナー」の充実及び展示機能を付加された「講堂」での展覧会等により、美術館としての機能・利用率の向上を図る。	なし
		・市美術館エントランスホールにおける作品展示 ・美術館と商店街との連携事業 ・館長講座開設 音楽コンサート公演、商店街と連携したワークショップ実施のほか、特別展において撮影可のスペースを設え、SNS等での発信を促すなど多様な層の来館に努めている。また、館長講座（前期・後期各5回）を開講し、市民等の知的欲求に応えている。	美術館美術課	継続	16	10	継続	3,870	音楽コンサート公演、商店街と連携したワークショップ実施のほか、特別展において撮影可のスペースを設え、SNS等での発信を促すなど多様な層の来館に努める。また令和2年度に丸亀町商店街に設置されたランチギャラリーにおける作品展示を行い、美術の魅力を広くとともに美術館のPRにつなげる。	なし
2-(2) 情報の収集及び発信	⑤高松市文化芸術ホール大規模改修	・高松市文化芸術ホール大規模改修 高松市文化芸術ホールは、市民文化の新たな創造と交流の拠点として、多様な文化・コンベンション機能を備え、広く親しまれているが、平成16年5月開館以降、音響・照明・舞台装置等の老朽化が進み、特定天井への対応も必要となっているため、全面的に改修を行う。	文化芸術振興課	新規追加	531,033	453,617	継続	3,871,169	令和4年度に引き続き大規模改修工事を実施する。	令和6年度の再オープンに向けて各関係者と緊密に連携し、円滑な改修工事の実施に努める。
	①多様・効果的な広報戦略	・瀬戸内国際芸術祭における情報発信 瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせ、本市観光サイト等を活用して、文化芸術イベントや市内の見どころ等を発信する。	文化芸術振興課	新規追加	3,751	2,365	-	0	本市観光サイト「エクスペリエンス高松」に掲載したアートに関する記事を継続掲載する。	瀬戸内国際芸術祭2022の開催期間の情報発信の内容とその効果について検証し、今後の効果的な情報発信につなげる。
	②情報の共有と蓄積	・創造都市推進局公式SNSの活用 創造都市推進局の所属職員が、Facebook、Twitter及びInstagramを活用し、創造都市の実現に向けた本市の各種取組等を世界に向けて発信することにより、本市の知名度向上を図るとともに、ソーシャルメディアの双方向性という利点を生かした参画型市政の実現、多くの人が情報を共有しながら更新するアーカイブづくりを目指す。	文化芸術振興課	継続	0	0	継続	0	引き続き、各SNSを活用し、「創造都市・高松」の発信を行う。	SNS毎に情報が届く層が異なることを意識するなど、より効果的な情報発信となるよう工夫する必要がある。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針3 つなぐ・あむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 (千円)	R4決算額 (千円)	R5予定 (拡大・縮小・継続・その他)	R5予算額	R5実施内容（予定）	今後の課題
3-(1) 協働及び連携	①プラットフォームづくり	・文化芸術プラットフォームの構築 文化芸術の振興が、より広く市民に実感されるよう、様々な分野の人材が気楽に集まり、共に知恵を出し合いながら、高松市の文化芸術を牽引していくような場の創出に取り組む。	文化芸術振興課	新規追加	210	173	継続	148	「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」において事例報告や意見交換等を実施するとともに、外部講師を招いての研修会・意見交換会も実施する。	「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」の活動を通じて、文化芸術関係者等の緩やかなネットワークを拡大していくとともに、意見聴取やアンケート調査等により文化芸術関係者等のニーズを的確に把握し、高松版文化芸術プラットフォームの完成に繋げていく必要がある。
		・文化奨励賞受賞者記念披露事業【再掲】 高松市文化奨励賞受賞者に発表の機会を提供し、その活動を応援するとともに、市民に対して文化芸術に触れる機会を提供する。概ね3年毎に実施予定。	文化芸術振興課	新規追加	44	0	継続	44	新人部門の受賞者に高松市瓦町アートステーション等での成果発表の機会を提供する。受賞者のニーズを把握しながら、実施の時期や在り方を検討する。	受賞者のニーズに適した場の提供及び顕彰部門受賞者や過去受賞者への発表機会の提供について、今後検討していく必要がある。
	②大学等との協働・連携	・高松市キャンパスメンバーズ制度 加入大学・短期大学・高等専門学校9校の学生が、市内7施設に無料で入園・観覧できる制度を運用することにより、学生が気軽に本市の観光施設や文化施設を訪れやすい環境を整える。	政策課	新規追加	91	59	拡大	172	国立美術館キャンパスメンバーズ制度等も参考にしながら、高松市キャンパスメンバーズ制度の対象施設・展示を拡充することで、菊池寛記念館文学展については、学生証等の提示によって無料で観覧できるように、高松市美術館特別展及びやしまーるパノラマアートについては、学生証等の提示によって割引料金で観覧できるようにする。	制度の更なる周知を行うことで、利用者数の増加を図り、文化的な学生生活の充実及び地域社会に関する学習の貢献に資するものとする。
3-(2) 交流の促進	①アーティスト・イン・レジデンス事業を通じた地域交流	・高松アーティスト・イン・レジデンス事業 アーティストが地域に滞在しながら行う創作活動をサポートし、作品展開や発表を通じて、人の交流やまちのにぎわいづくりに繋げる。瀬戸内国際芸術祭の開催年度を除き、3事業を実施予定としている。	文化芸術振興課	継続	0	0	継続	3,313	3事業を国内外より公募し、実施予定。	作品制作・発表に係る会場を、アーティストで用意することを応募条件にしているが、実際に使用できる空き店舗等をアーティスト側で見つけることが困難である場合もあり、引き続き、情報提供やサポートに努める必要がある。
		・大島アーティスト・イン・レジデンス事業 国立療養所大島青松園の施設等を活用し、県内外の小中学生が大島でサマーキャンプをしながらハンセン病の歴史を学ぶとともに、アーティストによる音楽、演劇、美術等のワークショップを実施する。	文化芸術振興課	継続	2,000	1,790	継続	2,000	広く参加者を募集し、参加者が3日間、大島に宿泊しながら、ワークショップを行い、ウェブ上で公開しているラジオ番組「大島アワー」を制作する。「大島アワー」には、大島青松園入所者のインタビューやワークショップの成果を盛り込み発信し、多くの人に大島や大島での活動について知ってもらい、来訪のきっかけを創出する。	大島青松園入所者等の意向に十分配慮した実施形態としていく。また、より効果的な振興となるよう事業内容のブラッシュアップに努める。
	②障がい者を始め、誰もが参加できる文化芸術活動の支援	・障がい者アートリンク事業 障がい福祉サービス事業所へアーティストを派遣し、絵画・音楽・ダンスの創作活動を行い、報告展を行う。	障がい福祉課	継続	10,000	10,000	継続	10,000	引き続き、芸術活動を通じて障がい者の感性・創造力を育み、障がい者の社会参加の促進を図る。	平成26年度からアーティストを派遣する障害福祉サービス事業所等を年々増やし令和4年度は16か所としたところである。今後とも、予算規模は維持しながら、コロナ禍の中、活動内容の見直しなどを積極的に検討し、より費用対効果が高い事業とする。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針3 つなぐ・あむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 （千円）	R4決算額 （千円）	R5予定 （拡大・縮小・ 継続・その他）	R5予算額	R5実施内容（予定）	今後の課題
3-(2) 交流の促進	②障がい者を始め、誰もが参加できる文化芸術活動の支援	・デリバリーアーツ事業 文化芸術ホールのアウトリーチ活動として、音楽・古典芸能等の公演を出前で開催し、地域の施設、老人福祉施設や障がい者施設等、市民の身近な場所において、文化芸術に触れる機会を提供する事業を実施する。	文化芸術振興課	継続	4,045	4,045	継続	4,385	引き続き実施する。広域連携中枢都市圏の取組みとしては、圏域内のさぬき市、東かがわ市、綾川町、土庄町において実施する。	利用団体・出演者に偏りが生じないよう、新たなメニューの実施や広報について工夫を重ねていく。
	③国内外の姉妹都市等との交流	・姉妹・友好都市等との交流事業開催（国外） ・観光と物産展の開催及び出展（国内） ・金沢百万石まつり、ひこねの城まつり参加 ・香川県・石川県合同観光キャンペーン 市民の豊かな国際感覚の涵養を図るため、国外の姉妹・友好都市等との交流活動を推進するほか、特産品普及啓発・販路拡大を図るため、国内の親善都市・交流都市等関係機関と連携した各種物産展等に参加し、特産品振興に努めている。また、県と合同で観光キャンペーン行う等、誘客活動に取り組んでいる。	観光交流課 都市交流室	継続	15,409	4,457	継続	20,784	国外の姉妹・友好都市等から親善研修生を受け入れるほか、フランス共和国トゥール市との姉妹都市提携35周年記念事業を実施する。また、本市と交流のある国内の都市で開催される物産展に参加し、特産品や観光のPRを行うとともに、都市間の友好親善を深める。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた交流事業を再開させ、交流事業参加者数や観光と物産展参加者数を回復させる必要がある。
3-(3) 文化芸術を生かしたまちづくりの推進	①高松国際ピアノコンクール及び同推進事業の展開	・高松国際ピアノコンクール及び同推進事業 高松から世界レベルの音楽を発信するとともに、地域の活性化、音楽芸術の振興、国際的な文化交流を図るため、4年に一度開催される高松国際ピアノコンクールの開催を支援することにより、市民が身近に国際的な音楽芸術に触れ、市民の芸術文化への関心を高めるとともに、中心市街地のにぎわいを創出する。また、推進事業として、学校訪問リサイタルや審査員によるマスタークラス、入賞者や審査員の演奏会等を行う。	文化芸術振興課	継続	27,860 (R3からの繰越 25,060を含む)	27,860 (R3からの繰越 25,060を含む)	継続	2,800	第6回高松国際ピアノコンクールの開催機運を高めるため、推進事業を引き続き実施する。	本コンクールがより一層市民の間に定着するよう、次回開催に向けて機運を高めるための取組を含め継続的に実施する必要がある。
	②瀬戸内国際芸術祭	・瀬戸内国際芸術祭及び関連事業 文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けた瀬戸内国際芸術祭を、県、関係市町及び福武財団等で組織する実行委員会が中心となり、開催する。また、芸術祭の谷間期間には、ART SETOUCHIとして、作品の継続公開や芸術祭関連事業を実施する。	文化芸術振興課	継続	103,532 (R3からの繰越 2,150を含む)	99,051 (R3からの繰越 2,150を含む)	継続	5,993	ART SETOUCHIを実施するとともに、次回芸術祭の開催に向け、必要な準備を進める。	会場となる地域及び実行委員会と連携しながら、アフターコロナを見据えた取組を検討する必要がある。
		・かがわ・山なみ芸術祭 芸術を軸とした地域の活性化を図るため、県内在住のアーティストと国内外の優れたアーティストが連携し、現代美術作品の展示やワークショップを実施する。地域の歴史文化や風土を作品制作における重要なテーマとし、ここでしか見ることができないアートイベントを目指す。	文化芸術振興課	継続	1,900	1,900	継続	0	実施予定なし（瀬戸内国際芸術祭の開催年度のみ実施）	今後も多くの人が塩江町等山間地域を訪れるよう、実行委員会と連携しながら事業を推進する。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針4 つたえる・たのしむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 (千円)	R4決算額 (千円)	R5予定 (拡大・縮小・ 継続・その他)	R5予算額	R5実施内容（予定）	今後の課題
4-(1) 地域特有の文化の継承と創造	①文化財等の保存・活用と魅力の伝承	<p>・「讃岐リミックス」事業 玉藻公園内にある国の重要文化財「披雲閣」で、香川の職人たちと、様々なジャンルのアーティストやクリエイターが共創し、新たな高付加価値を創出するプロジェクト。玉藻公園の観光資源としての磨き上げによる高付加価値化により、旅行者の滞在時間の延長・消費の促進を図る等、「文化振興・観光振興・地域活性化」の好循環を創出することを目的としている。</p> <p>・「AR・VR高松城」事業 夜間に誘客イベントを行うことで、観光客の市内宿泊へ結びつくナイト観光イベント事業高松城跡（玉藻公園）や、現存しない天守などを仮想現実の世界で楽しむことができるAR・VRアプリ「バーチャル高松城」事業を実施する。</p>	観光交流課	継続	1,041	1,040	継続	1,040	引き続き、AR・VRアプリ「バーチャル高松城」をインストールしたタブレット端末の貸出を行い、現存しない天守を仮想現実の世界で楽しんでいただく機会を提供する。また、「讃岐ReMIXプロジェクト」については、創作品の展示・体験等によって、夜型観光や文化観光を推進するとともに、同プロジェクトのブランディング及び自走化を図る。	入園者数の増加、民間事業者と連携したナイト観光イベントの充実、ナイト観光イベント実施時の商店街や宿泊事業者との連携強化、タブレット貸出件数及びアプリダウンロード数の増加。
		<p>・高松城跡和船体験事業 ・高松城跡鉄砲隊演武事業 本市を代表する観光名所の一つである高松城跡（玉藻公園）活用し、活性化を図るとともに、本市の歴史や文化へ関心を高めることを目的としている。今後も、観光拠点としての知名度アップと観光客の増加を図る。</p>	観光交流課	継続	3,618	3,618	継続	3,618	引き続き、和船「玉藻丸」で内堀を遊覧しながら堀を泳ぐ鯛等の海水魚へのエサやり体験を行う機会を提供する。令和4年6月に復元が完了した桜御門は、公開時期がコロナ禍と重なったため見学者が少ない状況である。今年度実証実験として桜御門ライトアップ事業を行い、来年度以降本市の夜型観光の推進やシティプロモーションの創出のために導入を検討する。	和船乗船者数の増加、鉄砲隊演武開催時の入園者数の増加、演武開催機会の確保、自主財源の確保。
		<p>・文化財の保存・公開 除草・剪定、史跡の補修など、指定文化財の保存や、管理団体に対する補助等を行う。</p>	文化財課	継続	19,369	17,559	継続	18,757	文化財の保存・公開（除草・剪定、所管の史跡における修繕、指定文化財の保存・管理団体に対する補助等）	文化財を後年へ保存・伝承していくための後継者育成と、保存・管理していくための経費として、市の予算のみならず文化財所有者（団体）の資金調達の確保が必要である。
		<p>・高松城跡整備事業等 高松城跡において、保存修理工事を実施する。あわせて、桜御門復元整備工事を行い、城内の景観の整備を進める。</p>	文化財課	継続	244,761	238,456	継続	32,718	月見櫓の外壁及び屋根修理工事を実施するとともに、桜御門復元に伴う内堀仮設ヤード撤去工事を実施する。披雲閣大書院の耐震補強工事を実施する。	文化財の保存を前提として、充実した活用が実施できるよう事業を推進する必要がある。
		<p>・屋嶋城城門復元AR等 屋嶋城跡城門遺構の環境整備が平成27年度末で完了し、一般公開を開始している。それに合わせて、城門のCG復元（AR）を実施し、スマートフォンやタブレット端末による現地での仮想体験を可能としており、今後も、見学会・講座等とARを組み合わせることで、継続して利用率の向上を図る。</p>	文化財課	継続	166	0	縮小	0	タブレット端末の貸出を委託していた事業者が令和3年度末で廃業となり、令和4年度は見学ルート上での事業者候補を設定できず、タブレット貸出委託事業を終了する。ただし、持ち込みのスマートフォン等による現地での仮想体験は継続する。	スマートフォン等のOSのバージョンアップにより、今後、アプリが対応できなくなる可能性がある。
		<p>・都市景観の形成 高松市景観計画において景観形成重点地区に指定している各地区（栗林公園周辺地区、仏生山歴史街道地区、都市軸沿道（11・193号等）地区、屋島地区及び讃岐国分寺跡周辺地区）の特性に応じたきめ細やかな景観誘導を実施し、良好な景観形成を図っている。</p>	都市計画課	継続	810	0	継続	810	・景観形成重点地区において景観誘導を継続する。 ・サンポート高松周辺地区を景観形成重点地区に追加指定することについて、他事業の進捗状況を考慮しながら、引き続き調査・検討を行う。	美しいまちづくり基本計画において景観モデル地区に指定しているサンポート高松周辺地区を景観形成重点地区に追加指定することについては新県立アリーナの進捗状況等を考慮しながら検討する必要がある。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針4 つたえる・たのしむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 (千円)	R4決算額 (千円)	R5予定 (拡大・縮小・ 継続・その他)	R5予算額	R5実施内容（予定）	今後の課題
4-(1) 地域特有の文化の継承と創造	①文化財等の保存・活用と魅力の伝承	・学校運営協議会 【4-(1)-②に再掲】 学校運営協議会との連携を深め、地域の人材を有効的に活用し、地域の文化や伝統などに触れることで、地域を愛する心情を培う。	学校教育課	新規追加	476	333	継続	6,759	学校運営協議会を通して、地域の人材を有効的に活用し、地域の文化や伝統などに触れることで、地域を愛する心情を培う。 令和5年度から、高松型学校運営協議会を法に基づく学校運営協議会に移行することにより、より一層、学校と地域との連携を深める。	地域人材の確保及び連携のための時間確保に困難を感じている学校がある。教職員が地域行事へ参加(休日)することによる多忙感の解消も課題である。
		・学校教育推進事業 【4-(1)-②に再掲】 総合的な学習の時間の学習を通して、地域の歴史、伝統、文化、自然などに触れ、学びを深めることで、地域の伝統や文化を大切にすることを育む。	学校教育課	新規追加	8,318	7,588	継続	8,181	総合的な学習の時間の学習を通して、地域の歴史、伝統、文化、自然などに触れ、学びを深めることで、地域の伝統や文化を大切にすることを育む。	講師となる地域人材の確保が困難な学校がある。
	②地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成	・歴史・文化番組放送情報発信事業 市内に残る名所、旧跡、文化財などにスポットを当て、人・歴史・文化・四季折々の風物等について、郷土の歴史や伝統文化を紹介する番組を制作放送するほか、Facebook等のSNSを活用し、身近にある文化財や史跡等について、市民をはじめとする多くの人に情報を発信する。	広聴広報課	新規追加	2,515	2,515	継続	2,515	テレビ放送番組やSNSで、高松市内に残る史跡・名所・旧跡などにスポットを当て、自然や人、行事、伝統芸能などを紹介する。 テレビ放送番組：15分間 年3回放送) SNSによる情報発信：(随時)	身近な文化財や史跡をテーマにSNSによる情報発信を行い、市民のシビックプライドの醸成を推進する。
		・高松まちかど漫遊帖事業 歴史探訪のみならず、食・産業その他高松の隠れた観光資源を発掘し、市民が主体となり自らコースを作成。まち歩きガイドを実施しながら、高松の魅力を様々なジャンルで紹介し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	観光交流課	継続	1,849	1,849	継続	1,849	春編及び秋編のパンフレットを作成し、まち歩き事業を展開する。また、SNSやインターネット等を活用した情報発信も積極的にを行う。	民間主導の運営への転換 ガイドブック以外の情報発信の更なる強化
		・文化芸術振興事業【再掲】 高松市文化芸術財団に事業を委託し、市民文化祭の開催のほか、文化芸術の振興普及を図るアウトリーチ事業を実施する。(アーツフェスタたかまつ、学校巡回芸術教室、学校巡回音楽教室、デリバリーアーツ)	文化芸術振興課	継続	16,443	16,443	継続	16,783	文化芸術財団に4つの事業を委託し、幅広い層が文化芸術に触れる機会を創出する。 なお、アーツフェスタたかまつについては、ホールの休館に伴い、他の公共的施設等を会場として実施する。	ホールの休館期間中においては、引き続き、アーツフェスタたかまつを開催方法等について変更する必要がある。
		・屋島山上交流拠点施設整備事業 自然や景観、歴史、文化等の屋島の魅力を発信するとともに、来訪者が屋島の特性や価値等の魅力を再発見し、共有するための交流や活動、学習の拠点となる場としての施設を屋島山上に整備する。また、当施設には、アート作品であるパノラマ展示を設置する。	観光エリア振興室	新規追加	201,693	186,605	完了	0	屋島山上交流拠点施設の供用開始及びパノラマアート作品の公開開始に伴い、当事業は完了とする。	-

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針4 つたえる・たのしむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 (千円)	R4決算額 (千円)	R5予定 (拡大・縮小・ 継続・その他)	R5予算額	R5実施内容（予定）	今後の課題
4-(1) 地域特有の文化の継承と創造	②地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成	・讃岐国分寺跡資料館(史跡まつり) 国分寺が栄えた奈良時代の知識を深め、貴重な特別史跡を郷土の財産として住民の手で保護し、人的・文化的交流の拠点として啓蒙・啓発していく。	文化財課	継続	1,847	1,847	継続	2,147	国分寺が栄えた奈良時代の知識を深め、貴重な特別史跡を郷土の財産として市民の手で保護し、人的・文化的交流の拠点として啓蒙・啓発する。(11/4開催予定)	実行委員会の多くの役員が高齢化しており、後継者の育成が必要である。 また、年々同委員会予算が厳しくなっており、事業内容の見直しが必要である。
		・讃岐国分寺跡資料館 (古代文化体験講座(ふるさと文化財探偵団)) 身近に残された歴史や文化等について学習及び体験を通して、歴史や文化財に関心を持ち郷土を愛する心を育む。	文化財課	継続	107	93	継続	107	古代体験学習を通して、歴史や文化を学ぶ。(計8回開催予定)	事業内容のマンネリ化防止のほか、他館と事業が重複しないよう実施時期等の調整が必要である。
		・菊池寛顕彰会事業 郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰することにより、郷土の文芸の振興、文化の向上に寄与する事業に取り組む。	文化財課	継続	277	277	継続	277	菊池寛顕彰会への補助を通して、郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、郷土の文芸の振興、文化の向上に寄与する事業を促進する。	「菊池寛ジュニア賞事業」等を継続するため、菊池寛顕彰会の組織の基盤強化を側面的に支援する必要がある。
		・学校運営協議会【再掲】 学校運営協議会との連携を深め、地域の人材を有効的に活用し、地域の文化や伝統などに触れることで、地域を愛する心情を培う。	学校教育課	新規追加	476	333	継続	6,759	学校運営協議会を通して、地域の人材を有効的に活用し、地域の文化や伝統などに触れることで、地域を愛する心情を培う。 令和5年度から、高松型学校運営協議会を法に基づく学校運営協議会に移行することにより、より一層、学校と地域との連携を深める。	地域人材の確保及び連携のための時間確保に困難を感じている学校がある。教職員が地域行事へ参加(休日)することによる多忙感の解消も課題である。
		・学校教育推進事業【再掲】 総合的な学習の時間の学習を通して、地域の歴史、伝統、文化、自然などに触れ、学びを深めることで、地域の伝統や文化を大切にする心情を育む。	学校教育課	新規追加	8,318	7,588	継続	8,181	総合的な学習の時間の学習を通して、地域の歴史、伝統、文化、自然などに触れ、学びを深めることで、地域の伝統や文化を大切にする心情を育む。	講師となる地域人材の確保が困難な学校がある。
③日常に溶け込む 伝統の技		・AJIPROJECT 地元の石材事業者の加工技術を活用して、暮らしに寄り添う庵治石商品の開発・販路開拓に取り組む。また、石材産地である強みを生かし、地域資源である「庵治石」を素材として、消費者の日常生活に「付加価値」を与える新商品の開発に取り組み、石材産地としてのブランドの再構築を行うことで、地場産業の振興を図る。高松市牟礼庵治商工会が事務局となり、各事業者と協力して実施している。	産業振興課	新規追加	0	0	継続	0	継続 (令和3年度より高松市牟礼庵治商工会から株式会社蒼島へ本事業を移管し、実施している。)	国内外への更なる販路拡大を目指し、新たな商品開発やブラッシュアップによりブランド力を高めるとともに、地場産業振興の役割を担う企業展開を進める。
		・香川漆芸魅力発信戦略事業 「香川漆芸」について、認知度向上と若手漆芸作家の活動支援のための取組を香川県とともに実施する。情報発信事業、新商品販売支援事業、新商品開発支援事業、漆芸研究所修了作品貸出事業を継続して実施予定。	産業振興課	継続	0	0	廃止	0	廃止	本事業は、令和元年度をもって終了。 令和2年度以降は県単独の事業として、実施予定。 高松市からの予算拠出はない。
		・伝統的ものづくり観光・資源PR事業 観光客等をターゲットとした伝統的ものづくりに関するワークショップ等を含むモニターツアーの開催、映像制作および情報発信の実施を検討。ゼロ予算であり、同様の趣旨を他事業に組み込む等の検討をしていく。	産業振興課	継続	0	0	廃止	0	廃止	「空の駅かがわ」や、その他の施設などで、観光客や市民をターゲットとしたワークショップや展示会等の開催を検討していく。

第2期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針4 つたえる・たのしむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R4予算 (千円)	R4決算額 (千円)	R5予定 (拡大・縮小・ 継続・その他)	R5予算額	R5実施内容（予定）	今後の課題
4-(1) 地域特有の文化 の継承と創造	④食文化の振興	・アスパラ大騒ぎ 地域で生産されるアスパラガスを核にして地産地消の価値や地域活性等、多様な価値を食や芸術を通して創出、共感する。 (主催は「アスパラ大騒ぎ実行委員会」)	産業振興課	新規追加	0	0	その他	0	民間団体が実施する事業であり、本市において、実施内容は把握していない。	高松市は、後援事業の立ち位置であり、高松市からの予算拠出はない。
4-(2) 多様な文化芸術 等の尊重及び享 受	①新しく創出され る文化芸術活動 の支援	・新しい表現による文化芸術活動の支援 現代サーカス等の出前公演を行うほか、新しい表現によるアート展開の調査・支援に取り組む。	文化芸術振興課	継続	-	-	継続	-	「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」における事例報告や意見聴取の機会等も活用しながら、情報収集を行う。	文化芸術プラットフォーム構築事業との連動も十分に意識する必要がある。